



進路だより

大阪府立東淀川支援学校 令和 8 年 4 月 10 日 第1号

キャリア教育推進部では進路に関わる情報を毎月この「進路だより」に載せて、発行していきます。進路に関わることでご相談などがありましたら、担任を通じてお知らせください。本号では、令和7年度進路状況や小学部から高等部までの進路関係の取組みなどをお知らせします。今年度も児童・生徒の実態や希望に即した進路指導を進めたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

☆令和7年度進路状況☆

【小学部6年生 8名】

- ・府立支援学校：8名

【中学部3年生 30名】

- ・府立支援学校：30名
(府立高等支援学校職業学科含む)

【高等部3年生 36名】

- ・就職：3名
- ・就労移行支援：0名
- ・就労継続支援A型：6名
- ・就労継続支援B型：12名
- ・自立訓練：6名
- ・生活介護：6名
- ・その他：3名

☆本校の進路関係の主な取組み予定☆

小学部

- ・2年生 進路保護者勉強会
- ・5年生 進路保護者説明会
- ・6年生 進路希望調査

中学部

- | | | | | |
|------|-----------|----------|--------|-----------|
| ・1年生 | 進路・社会体験学習 | 進路保護者説明会 | | |
| ・2年生 | 進路・社会体験学習 | 進路保護者説明会 | 進路希望調査 | 職業講話 |
| ・3年生 | 職場体験学習 | 進路保護者説明会 | 進路希望調査 | 高等部校内実習見学 |

高等部

- | | | | |
|------|---------|----------|------------|
| ・1年生 | 校内・現場実習 | 進路保護者説明会 | 進路希望調査 |
| ・2年生 | 校内・現場実習 | 進路保護者説明会 | 進路希望調査（2回） |
| ・3年生 | 校内・現場実習 | 進路保護者説明会 | 進路希望調査 |

☆進路について日常からできること準備すること☆

高等部卒業後の主な進路先である福祉サービス事業所アンケートの一部をご紹介します

Q. 高等部卒業までに身につけてほしいこと、取り組んでほしいことは？

A. 福祉サービス事業所から回答の多かった項目を順番にお伝えします

- ・挨拶ができること
- ・困ったことなどあれば、周りに伝えることができること
- ・体力をつけること
- ・できる限り公共交通機関を使って自力通所できること
- ・健康に気をつけて過ごすこと
- ・卒業までに好きなことを見つけること
- ・学生の間にはたくさんの経験をする
- ・自分の意思で決める習慣をつけること
- ・社会人としての身だしなみを身につけること
- ・同世代の友人とのコミュニケーションをたくさんとること

高等部卒業後の主な進路先である、福祉サービス事業所からの意見ですが、小学部や中学部から取り組めることもたくさん含まれていると思います。それぞれ児童・生徒の特性や発達段階に応じて、今からできることを少しずつ取り組んでいただければと思います。

☆昨年度高等部卒業生保護者からのメッセージを一部ご紹介いたします。☆

- ・たくさんの事業所がありますが、早めの見学、体験をしていき、本人が1番楽しんでいける場所を探るのがまずは1番と思います。その上で何が向いているかを本人とよく相談して決めるのがベストだと思います。
- ・本人の気持ちを第一に、焦りすぎず、進路を見つけてあげて欲しいです。
- ・1年生の時から少しは事業所を見学し、2年生の時までに3か所は見学や体験を経験する方が良いと思う。あまり多すぎると迷ってしまうかも。そこで考えて再度見学するか決めていくのも良いと思う。
- ・今思えば、1年生から早めに行った方があわてないと思います。
- ・事業所の普段の様子を見るには平日なので、学校が代休の日に合わせていくようにしました。(学校を休まずに行くことを本人が決めていたので)
- ・事業所に行くことを想定して、家を出る時間を全く同じにして、道のりの人の流れ、電車の混み具合を自分の目で見て、本当に自分で行けるのか体感して納得してもらうことを重視しました。
- ・一人ひとり障害が違うので、周りの方と合わせるができないので、なるべく子どもに合う事業所を見つけるため、1回の体験でわからないことが多いので、気に入ったと思うことができたなら、2度3度同じ事業所で体験して様子を見た方がいいと思いました。
- ・やはり親の希望と子供の希望は違っていました。働くのは子どもなので、子どものやりたい方を選びました。ただ、代替の事業所は何社か知っていた方が良かったと思います。
- ・地域中学校を経て高等部から支援学校に入ると、すぐ進路の話があり慌てました。見学のための電話を入れるのも不安で、まずはPTA主催の事業所見学会に参加しました。事業所とは？見学とは？の不安を見学会で取り除くことができ、その後は自分で連絡し、見学することができました。1年生夏休みに本人同伴で見学、2年生夏休みは再見学と体験をしました。1, 2年生とあえて2回見学し、作業内容やスタッフや利用者の雰囲気等印象が変わらないかを感じに行きました。実際、進路として考えたのは1年生からの3か所でしたが、PTA事業所見学会で実際進まないと思う事業所でも参加してみても他にこういうところもあるんだな…と参考にしました。先輩(友人)保護者がいたので、話や相談させてもらえたのも大きかったです。
- ・まずは家の近所の事業所から見学や体験に、1年生の頃から子どもと一緒に行くことをおすすめします。結局、通うのは子どもなので、本人が楽しく過ごせるところ、スタッフさんとのやり取り等いろいろ親とは違う感じ方があると思います。PTAの事業所見学会は実際に通う選択肢になくてもとても参考になるので是非参加してみるといいです。